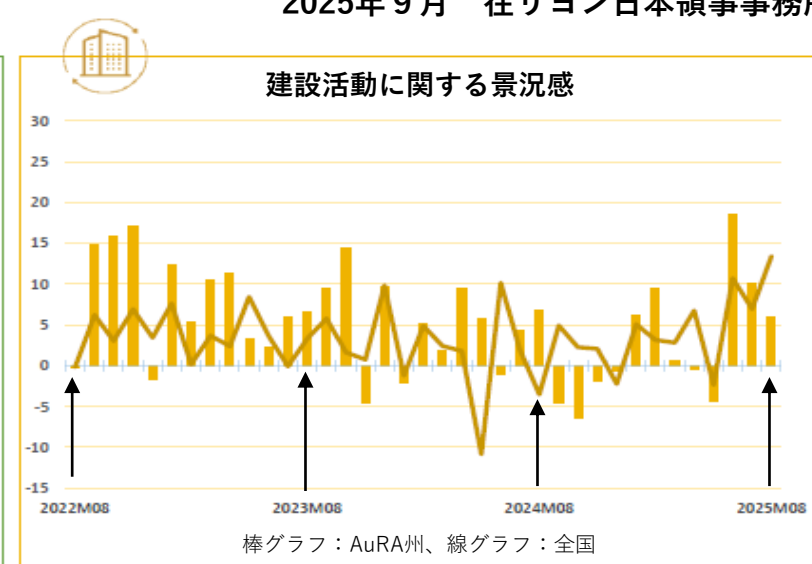
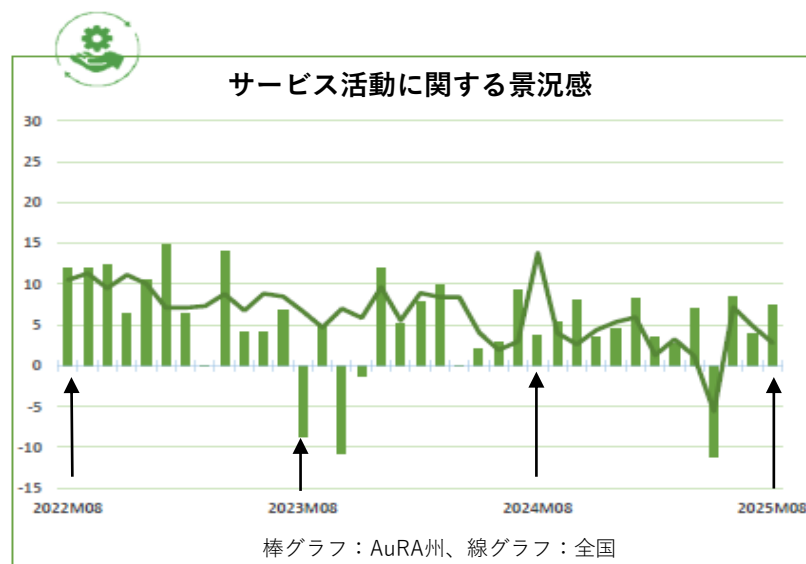
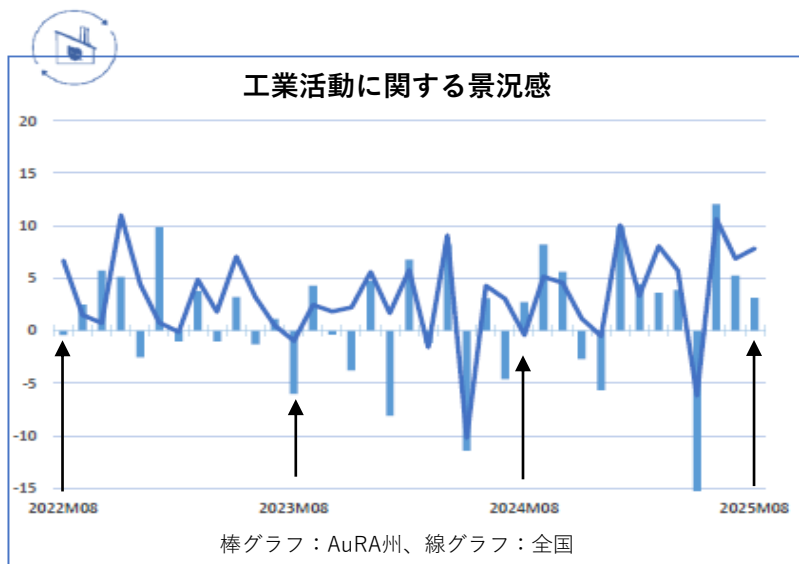


オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ州における景況感調査（2025年8月）

2025年9月 在リヨン日本領事事務所



ポイント

- **工業部門**の景況感の伸びは、通常より長い夏季休業の影響で鈍化し、全国平均を下回った。雇用は横ばいだった。その結果、稼働率は低水準となった。受注は前月より活発だったが、企業経営者は受注残が依然として不十分とみている。しかし今後数週間で活動の緩やかな増加が見込まれる。
- **サービス部門**では、AuRA州における取引は全国平均を上回った。雇用はわずかに増加し、販売価格は上昇した。国内外情勢の大きな不確実性により、新規プロジェクトが抑制されることを考慮し、9月の景況感ごく緩やかな増加にとどまるとの慎重な見通しが示されている。
- **建設部門**の事業活動は増加したものの、全国平均よりも鈍い伸びだった。基礎工事は上半期に底を打った後、増加傾向にある。しかし、受注残は依然として不十分と見られている。一方、内装工事は8月にはほとんど変化がなかったが、作業の進捗は堅調である。しかし、先行き不透明な状況下で今後の事業予測は控えめとなっている。
- 資金繰りの状況は全体的にわずかながら改善が見られる。しかし、貨物道路輸送及び宿泊業の経営者からは、依然として深刻な資金繰りの厳しさが報告されている。

* 各部門におけるセクター毎の調査結果は下記の出所（仏語）をご覧ください。

- ・ フランス銀行が、AuRA州の工業、サービス業、建設・公共事業の各セクター1,150の企業と事業所を対象に、景況感について調査を実施（2025年8月27日～9月3日）。
- ・ 景況感（le solde d'opinion）とは、企業経営者による肯定的意見と否定的意見の合計を、企業の従業員数で加重平均し、各部門の付加価値で調整したもので、企業経営者による7段階評価の回答を集計した指数であり、その値は-200から+200の範囲となる。季節調整済み及び稼働日調整済みデータを使用。

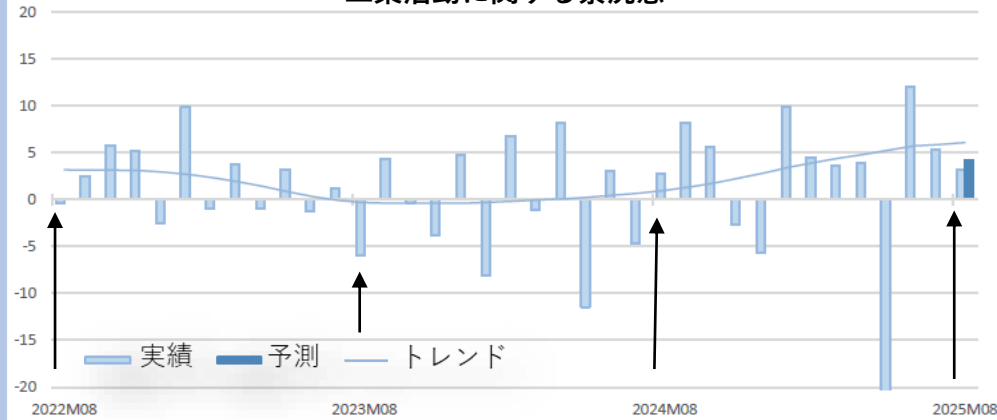
（出所：Banque de France, [Tendances régionales : Auvergne-Rhône-Alpes](#)）

オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ州における景況感調査（2025年8月）

：実績、翌月の予測、トレンド



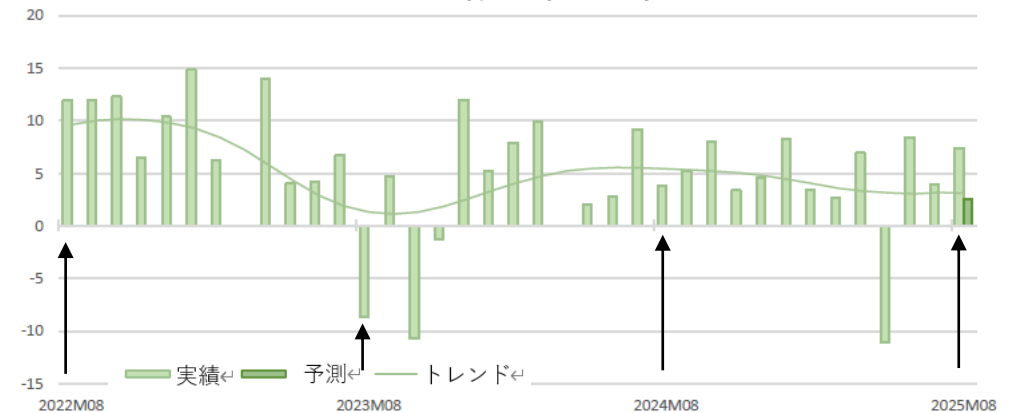
工業活動に関する景況感



工業部門の景況感は、セクターによってばらつきはあるものの堅調に推移した。木材・紙・段ボール、食品、自動車産業の景況感は向上した一方、機械・設備、繊維・衣料・皮革、電気機器は減退した。原材料価格はいくつかのセクター（金属、輸送機器、食品、機械・設備）で大幅に上昇し、一部は販売価格に転嫁された。雇用は安定した。最終製品の在庫水準は予想を上回り、維持された一方、全体として受注残は不十分とみられている。短期的にみると、工業活動は今後わずかに増加する見込み。



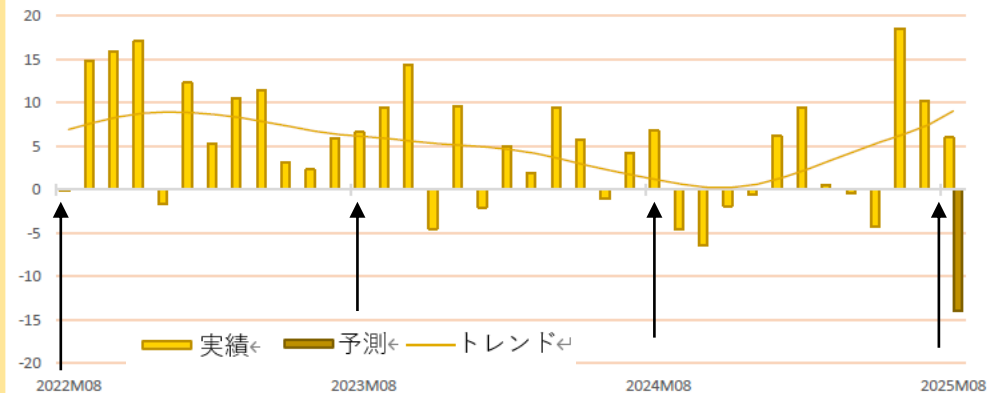
サービス活動に関する景況感



8月のサービス部門の景況感は伸びをみせたが、分野によってばらつきが見られた。ほとんどのセクターで好調だった一方、宿泊業とIT関連セクターは減速した。これらセクターにおける雇用はわずかに増加し、価格も上昇した。今後1か月については、企業経営者の見通しは慎重で、事業活動は緩やかな伸びにとどまると予想している。



建設活動に関する景況感



8月の建設活動の景況感は、年初に記録された底値から基礎工事が回復したことで上向きを維持した。一方、内装工事は夏季休暇の長期化により、ほぼ横ばいだった。見積価格は上昇したが、9月には緩和される見通し。基礎工事の受注残は不十分、内装工事では受注残が依然として多い状態となっており、全体では受注はわずかに減少した。企業経営者は今後も慎重な事業見通しであり、多くの不確実性、特に「Ma prime rénov'（住宅の省エネ改修向け補助金）」制度の再開条件等を考慮し、事業活動は減退すると予測している。